

県内各地で広がるDX・先端技術への挑戦

DXは、将来のありたい姿を描き、その実現に向けてデータやデジタル技術を活用して、サービスやビジネスモデルなどを変革していく取組です。業務の効率化による生産性の向上、新たなサービス創出による顧客満足度の向上など、様々な効果をもたらします。県内でも、企業や自治体において、それぞれの特色を活かした取組が広がっています。

県内企業の特徴を活かしたDXの挑戦

日常の買い物を健康増進につなげるDX（AIとデータ連携）

中津市を中心にスーパーマーケットを展開する企業は、「電子レシートサービス」と、購買データや健康データをAIが分析し、おすすめレシピの提案や運動のアドバイスをする「健康アプリ」の機能を連携させています。



AIが自動でメニューを提案

お客様一人ひとりに合わせて、栄養バランスを配慮したレシピや運動メニューをAIが自動で提案することで、健康意識の向上や日々の生活習慣の改善など、お客様の健康的な生活習慣を支援しています。



結婚式当日の思い出を提供

結婚式の思い出を再び（データの戦略的活用）

日田市でレストラン、ホテル、ブライダル事業を展開する企業は、結婚式を挙げたお客様の記念日などにレストラン等を利用してもらい、当日の思い出や料理を提供するなど、感動を呼び起こすサービスを展開しています。

顧客ごとに、結婚式の準備段階から当日の内容までの情報をデータベース化することで、情報を探す業務を効率化するとともに、顧客の趣味嗜好などのデータを分析し、サービス内容や情報発信の改善に役立っています。

県民の暮らしを便利にするDX

身近な行政サービスを便利で簡単に

本県では、県民に身近な行政サービスを提供する市町村の行政DXへの支援に力を入れています。令和6年2月、県内全18市町村が、行政手続の電子化、キャッシュレス対応、施設予約のオンライン対応について、概ね令和7年度までに完了を目指す共同目標を設定しました。

県では、電子化に必要な申請フォームの提供やシステム等の共同調達・共同利用により、市町村を支援しています。



キャッシュレス対応した日田市役所の窓口

本県は、「先端技術への挑戦」の旗印のもと、様々な技術の導入・活用にチャレンジしてきました。今後も、成長著しい最先端技術の動向や知見をキャッチアップしながら、新たな産業の創出や地域課題の解決に向けて、果敢に挑戦していきます。

地域の産業や未来を支える～次世代空モビリティ・ドローン～

次世代空モビリティの可能性

空飛ぶクルマなどの次世代空モビリティ市場は、今後の成長が期待されている分野です。

本県では、法政大学等と国産機体の開発などの連携に関する覚書を締結したほか、実証用の機体を用いた飛行実験を行うことなどにより、こうした新分野にチャレンジしようとする県内企業を後押ししていきます。



空飛ぶクルマが活躍する姿



ドローンによる物資配送

ドローン産業の拠点化

本県は、全国に先駆けて、被災調査や救援物資輸送などの災害対策にドローンを活用していますが、ドローン産業の成長には平時からのビジネス利用が欠かせません。

今後は、過疎地・離島における物流網の維持などの地域課題解決にドローンを活用しつつ、成長産業化に向けた販路開拓支援、さらには、国内ドローン産業の拠点化に向けた関連企業誘致や研究開発による交流促進にも取り組みます。

宇宙港の実現に向けて～新たなビジネスの創出～

宇宙港とは、宇宙往還機^{*1}などの宇宙船の離発着に使用される施設です。

本県は、アメリカの宇宙開発企業シエラ・スペース社、兼松株式会社、日本航空株式会社、株式会社三菱UFJ銀行、東京海上日動火災保険株式会社とパートナーシップを締結し、大分空港の宇宙港としての活用に向けた検討を進めており、将来的には、シエラ・スペース社が開発中の宇宙往還機「ドリームチェイサー」の着陸拠点として、大分空港が活用されることを目指しています。



宇宙往還機 ドリームチェイサー

今後の成長が見込まれる宇宙関連産業を県内に取り込むとともに、県内企業の新規参入を後押しすることも大切です。実証実験や販路開拓への支援、次世代人材の育成などに取り組んでいきます。

*1 宇宙と地球の間を行き来する機体のこと。